

# 新 歓 ラ ン

by Satoru  
Nagami

右い右い、半年もたつてから、善けと言われても、すっかり忘れてしまっているのだからこの事については、簡単に話をすませることとします。入部して間もないある日曜日に、先輩につれられて、狭山湖へ行った。まあ、ただそれだけのことなのです。

私がドロップアウトには、全然さあ、左帝のない人間だと言う事を考えて以下の文を読んでもいい。(もちろん運動神経がニブイのも認めます。) まず最初の出発事は中原街道で起りました。

信号が黄色になつたので止まりました。止まるとは、良いけど、車道側へ、コテンと倒れてしまつたのです。以下、新歓ランで起つた出来事の大要が、私が原因である事を認めこの事については終わります。

さて、話は変わりますが、合宿において、当部の部員は、ガキとなります。青うぱなたるしたガキでたして飢えた鬼の方であります。とにかく、食い物に関しては、弱肉強食で、先輩も後輩もありません。しかし、何と言つても、上級生は、強いのです。いかに大量の、メシを少量のおかずで食うかについては一年の及ぶところでは、ありません。そんなわけでみんな食いなければ生きのこれないといふ、恐迫観念におそわれ、たがひたする食は

まくるのです。そして、合宿が終るとSKもふよつてい  
ます。これは、由々しき事態であります。大学へ入ると、た  
だでさえ運動量がへ、とれる所へも、ときて、トレーニングは週二回  
しかないので、このままでは、たいして良しもたないプロポー  
ンが、二十前に中年ぶとりはなつてしまいます。しかも、大食  
りかたは、胃拡張がみななので多少の事では、はるがふくらむ  
ので減量にはさうさうの覚悟がいります。かくして、人にまよ  
りますが、当部の部長は、合宿が終ると原と、たと言つては、責任  
のなすり合いをするのです。

新入生の私が、クラブに期待したことのあつた物は、かたえられ  
るものはありませんでした。でも人はたくせんります。

総じて、みんな、それでいろいろな意味でアホであります。  
私自身も、何かとドジなアホもあれば、キンドの話をいせれば  
何時間でもしゃべつていふアホもおります。全体的に見るとあまり  
程度は高くなりアホばかりですが全負をさるれば不可能はな  
りし信じるほど知識欲はあつていふ。

TITCCのマークを見たら一つ、からが、と見て下さい。す  
ぐ本性を表わしておもしろいのです。アホくらべならまけません。

